



平原 隆史

◆ 統計分析法演習 ◆

演習では、現代社会において、データや事実を元に社会の諸現象を把握、記述、理解するために、横断社会科学かつ定量的な手法や定理を用い、可視化や構造・機能の把握するための方法論や技法習得を行うことを目的とする。そのため、統計・数学・プログラミングなどの技法に関して、抵抗感がなく積極的に取り組めることが必須となる。

具体的には、自分の抱える社会や経済などを包含するような諸問題に対し、自ら問題の把握・理解・解決の道筋をつけられるような仮説を作成し、その仮説を定量的な手法を用いて検証し、問題構造を把握し、その解決策を導出できるまでを一連の過程を自ら獲得できるように演習を行う。この中で、統計的技法、データ解析の手法、また計量的な社会科学の学理を習得することを目的とする。